

●第158回奈良市国民健康保険運営協議会の質問に対する回答

質問事項	関連資料	ご意見・ご質問内容	回答
子ども医療費助成制度の現物給付化に伴うジェネリック医薬品使用率の低下懸念について	資料P. 21 ～23	被保険者証に「ジェネリック医薬品を希望」を予め印刷するのは良い取組だと思う。 ただ、子ども医療費助成制度の現物給付化になるとジェネリック医薬品への切り替えが落ち込む可能性もある。制度変更時はジェネリック推進への意義も含めてしっかり広報を行い、使用率が落ち込まないよう留意してほしい。	ジェネリック医薬品促進については、奈良県や奈良県国保連とも協働し、今後も年間を通じて恒常的に広報・啓発を行う予定です。 子ども医療費の現物給付化に際しても、医師会をはじめ、各医療機関へジェネリック医薬品使用促進の依頼を継続します。
国保被保険者、国保料の減少傾向と徴収強化、歯科検診の無料化について	その他	協会けんぽの保険料が下がっている。国保料も社会保険の適用拡大や後期高齢者への移行もあって、歳入面は今後ますます厳しくなる。このような状況下、延滞金の徴収や差押専門員の配置はとて望ましいと思う。 歯科検診の無料化も賛成。	様々な課題について、常に改善をめざしております。他にもお気付きの点いろいろご意見いただければ、ありがたく存じます。